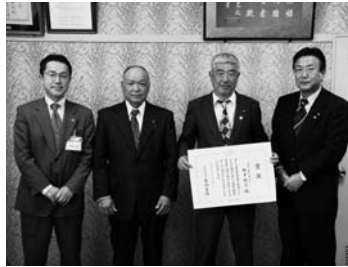


**町農業委員の野木成文さん、農林水産大臣表彰を受賞**

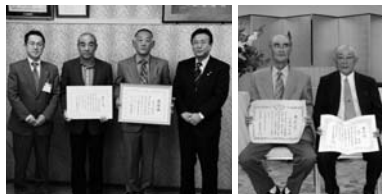
町農業委員の野木成文さん（本町）が、先に福島市で開催された「第52回福島県下農業委員大会」で、農業政策に多大な貢献をし、かつ20年以上に職している農業委員を対象とする「農林水産大臣表彰」を受賞し、11月9日、受賞報告に町役場を訪れました。野木さんは、昭和59年に農業委員に就任。それ以来約23年間にわたり積極的に地域の担い手農家の育成や認定農家になるよう働きかけを行い、遊休農地や耕作放棄地の利活用に奔走するなど、積極的な活動を実施してきました。



**町統計行政に貢献 近藤さんらに統計調査員功労者表彰**

10月25日に福島市で開催された「平成19年度統計功労者等表彰式」で、統計行政に貢献された方が表彰されました。今後も統計調査について、ご協力をよろしくお願ひします。

受賞者のみなさん  
 ● 県知事表彰（統計功労者）近藤 典之さん（本町）  
 ● 県統計協会名誉会長表彰 氏家 孝紀さん（小松） 浦井 敏弘さん（本町） 鈴木 廣さん（中畑）  
 ● 経済産業省所管統計調査功労統計調査員（感謝状） 佐久間義郎さん（三城目）



表彰式に出席された近藤さん（左）と鈴木さん（右）と佐久間さんは、町役場で表彰を伝えられました（浦井さんは都合により欠席）。

**交通安全母の会連絡協議会 交通安全功労者交通対策本部長表彰を受賞**

矢吹町交通安全母の会連絡協議会（菊地美枝会長）が、地域の交通安全活動に多大な貢献をした団体に贈られる「交通安全功労者交通対策本部長表彰（大臣表彰）」を受賞し、11月20日に菊地会長らが町役場を訪れ、野崎町長に受賞を報告しました。

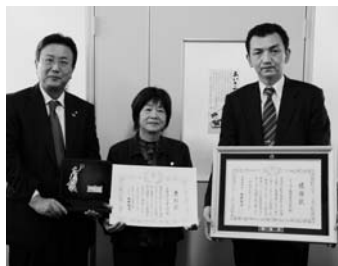


矢吹町交通安全母の会連絡協議会は昭和56年に設立され「交通安全は家庭から」を基本理念とした交通安全推進に努め、保育園・幼稚園・小学校などでの交通安全教育活動を長年実施しています。

**献血協力で2団体が感謝・表彰状**

10月23日、長年の献血協力活動の功績に対する福島県からの感謝状および日本赤十字社福島県支部からの表彰状を受賞された方々が、その報告に町役場を訪れました。

感謝状は、過去5年間に延べ314人の社員のみなさんが献血されたケミコン福島㈱（志田洋一社長）が、表彰状は献血協力の呼びかけや献血協力者に牛乳やパンなどを配るなど、会員が一丸となって積極的な取り組みを行っている三神赤十字奉仕団（高橋フミ子会長）が、それぞれ受賞されました。おめでとございます。



**献血記録71回！ 小比田さん、献血功労者「銀色有功章」を受賞**

11月13日、献血功労者に贈られる「銀色有功章」の伝達式が町役場で行われました。今回受賞されたのは、小比田洋希さん（赤沢）。「銀色有功章」は50回以上の献血をされた方に授与されるもので、小比田さんは高校2年生の時に初めて献血し、その後25歳からは月1回のペースで成分献血を行っています。これまでの献血実績は通算71回。「次は100回以上の『金色有功章』を目標に献血を続けていきます。」と今後の抱負を述べた小比田さん。実現は目前です！

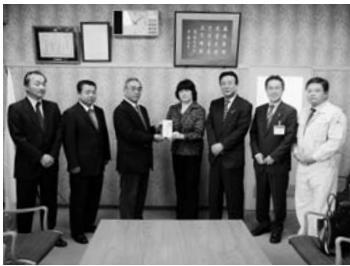


**矢吹町建設協力会 手をつなぐ親の会に善意を寄付**

町内の建設業各社で構成する矢吹町建設協力会（太田美男会長）が11月1日、矢吹町手をつなぐ親の会（富永典子会長）に浄財を寄付されました。

寄付金の贈呈は野崎町長らの立会いのもと町役場で行われ、10月に実施されたチャリティゴルフ大会で集まった3万円が、太田会長から富永会長に手渡されました。

町建設協力会は、建設業で培われた技術で地域に貢献することを目的に設立され、平成10年の「8・27水害」のような災害発生時の人的・物的支援や、沿道の草刈り清掃など、積極的に社会奉仕活動を行っている組織で、町内の建設会社24社で構成されています。



**快適な走りへ応援 建設協力会、「ふくしま駅伝」コースを草刈り・清掃**

11月18日に開催された「ふくしま駅伝」に出場する選手たちに、矢吹町を快適に走っていただくという趣旨で、矢吹町建設協力会が沿道の草刈り・清掃作業を実施しました。

この日はさわやかな秋晴れとなり、参加した会員の方々も気合充分。コースに使われる町内の沿道6.7km区間を、総勢30名がダンパー・草刈機



それぞれ12台を駆使し、約3時間の作業を行いました。建設協力会のみなさんのおかげで、走ったランナーはもとより、沿道で応援した町民のみなさんも快適なひと時を過ごすことが出来ました。ありがとうございました。

**坂路惇子さん、全国障害者スポーツ大会に出場、健闘！**

ポウリング競技

このほど開催された第7回全国障害者スポーツ大会「わか杉大会」に、ポウリング競技の福島県代表として坂路惇子さんが出場、健闘しました。坂路さんは昨年開催された「福島県手をつなぐ親の会ポウリング大会」で優勝し、その実績が買われて女子ではただ一人のポウリング競技代表に抜擢。選抜以来、坂路さんはポウリング場から廃品のボ



ールを譲り受け、練習を重ねて本番に臨みました。大会では優勝とはいかなかったものの、「リラックスして、楽しく」をモットーに大健闘。全国の舞台上で力を出し切りました。来年の大会にも出場できるよう、ガンガレ！

**グリーンツーリズム実験事業「三鷹市のみなさんによる「田んぼのオーナー会」で稲刈り**

さわやかな秋晴れの中、地元農家の方からの指導を受けながら、「オーナー」さんたち25名は一株つつ丁寧に刈り取り作業を行い、収穫の喜びを味わいました。作業終了後には新米でこしらえたおにぎりなどがふるまわれるなど、姉妹都市間の交流が深められました。

農作業を通じて都会と農村の交流を図るグリーンツーリズム実験事業として開催された「田んぼのオーナー会」。三鷹市のみなさんが田んぼのオーナーとなり、田植えや収穫などの作業を通じて、矢吹町の自然や文化にふれていただき、住民同士の交流を深める目的で実施されています。それから半年…。オーナーのみなさんの思いが込められた稲は見事な黄金色に実り、11月3日に稲刈りが行われました。この日は雲ひとつない



雨ニモマケズ、大盛況！  
「産業祭」開催

「ふれよう、やぶきの産業に 活かそう、地域資源を」をテーマに10月27日に「矢吹町産業祭」が開催されました。

この産業祭は、町の地場産業や企業製品などを展示し、町内の産業を多くの方々にPRするもので、58の団体や事業所が出展したほか、東京農業大学の小泉武夫教授が「地産地消と地域の活性化」をテーマに講演を行いました。

この日はあいにくの雨模様でしたが、同時に開催された「JA東西しらかわ西部地区農業まつり」や「第6回とうろく君まつり」とともに、終日賑わいを見せ、悪天候を吹き飛ばす活気がみなぎっていました。



▲雨にもかかわらず、大勢のお客さんがつめかけました。

◀小泉武夫教授の講演の様子



来年、花いっぱい！  
「こうすつぺ西側」でアジサイを植樹

「こうすつぺ西側イメージアップ作戦」（富永創造代表）のみなさんによる「秋の植栽」が11月4日、隈戸川河川敷（館橋付近）で行われました。

さわやかな秋空のもと、小・中学生からご年配の方まで、幅広い年齢層の約30名が参加。アジサイの植栽作業を楽しみ、一所懸命に取り組みました。作業終了後にはお汁粉を味わい、参加者同士の親睦を深めあいながら、来年5月の開花を願いました。

この「秋の植栽」は毎年実施しているもので、これまでもサクラやヒマワリ、レンゲなど、数多くの植栽を行っており、それら開花の季節には、隈戸川を訪れる人々の目を楽ませています。



小池「植樹祭」開催

11月11日、「小池」において、「ふるさと水と土活動支援事業（県事業）」の助成を受け、「植樹祭」が開催されました。今回の植樹は、地域の環境整備に対する意識の向上と体制を支援するための事業で、みらい倶楽部（柳田政弘委員長）主催により小雨の中、地区住民、善郷小の生徒ら約50名が参加、散策路周辺に「きんもくせい」の苗木30本を植樹しました。みらい倶楽部は、小池周辺整備に、計画段階より様々な提案を行っており、今後は、事業終了後の小池との関わりについて、地域住民との連携を検討していく予定です。



本番さながら！  
三神地区で火災  
防御訓練を実施

10月28日、三神地区での地震を想定した火災防御訓練が矢吹消防署と町消防団の合同で実施されました。

訓練は、三城目地内の神社から火災が発生する「第1次火災」とそこから一般住宅に飛び火し火災が発生する「第2次火災」を想定して行われ、三神地区を担当する第3分団と矢吹消防署が合同で、本番さながらの消火活動が展開されました。

この時期は空気が乾燥し、火災発生のおそれが高まる季節です。火の取り扱い、後始末には十分のご注意をお願いします。



全国大会へ向けて大きな弾み！  
矢吹中女子、中学駅伝東北大会で初優勝！

11月3日に東北中学駅伝大会が秋田市で行われ、矢吹中学校女子チームが初優勝！12月15日に山口県で行われる全国大会へ向けての大きな弾みとなりました。



レースは5区間12・4kmで行われ、矢中は2区からトップに立ち、そのまま独走状態でゴール。2位に約40秒の差をつける圧勝で初制覇を遂げました。

矢吹中学校女子駅伝チーム 敬称略

- 小林 美穂（1区）
- 佐久間育子（2区）
- 長尾江里子（3区）
- 泉川 瑞季（4区）
- 栗崎恵理子（5区）
- 森 麻理亜
- 佐久間千英



駅伝メンバー（町教育委員会表彰）

速報！

新人バスケット大会  
矢吹中学校女子、優勝！！

11月10日、11日に開催された「第34回福島県中学校新人バスケットボール大会」で、矢吹中学校女子チームが見事優勝！矢吹中学校の快進撃はとまらない！



私の一言

光り輝く“ひとびと”

あつという間の1年。毎年この時期に思うことですが、月日の流れがとても早く感じる今日この頃、平成19年も残すところあと1カ月となりました。

さて、我がまちのこの1年を振り返ると、“ひと”がいきいきと輝いた印象を強く受けました。スポーツ面では、三神スポ少のミニバスケ全国大会出場および善郷小陸上クラブのクロスカントリー全国大会出場、今年初出場した「全国ティーンボール選手権大会」での矢吹町チーム優勝などの小学生の活躍ぶり。中学生も負けてはいない。野球部の東北大会出場、女子バスケ部の新人戦県大会制覇、そして女子駅伝チーム県大会3連覇…。高校生・大学生にいたっては、丹野麻美選手が世界陸上女子400mで日本人初の準決勝進出を果たし、また相笠翔太選手が自転車競技でインターハイ・国体を制するなど、日本一、いや世界にも通用する活躍を見せてくれました。さらに、このほど開催された「ふくしま駅伝」でも、町の部準優勝。「駅伝の強豪」として、矢吹町のイメージがしっかりと定着した大会となりました。

また文化面でも数々の輝かしい成績を取りました。善郷小器楽クラブは東北大会連続出場を果たし、県統計グラフコンクールでは三神小の加藤慧也君、関根沙文君が最優秀賞にあたる「知事賞」に輝いたのをはじめ、各賞を矢吹町の小学生がほぼ独占するという状況でした。

そのほか、町内でのイベントも例年にない盛り上がりを見せました。「中畑清旗争奪ソフトボール大会」では猛暑の中、109チームが熱戦を繰り広げました。「真夏の夜の鼓動」では夜の水面に灯るうが漂う幻想的な雰囲気の中、太鼓の演奏やよさこいに観衆が酔いしれました。「やぶき夏祭り」では夕暮れ時の商店街を大勢の町民のみなさんが踊りながら練り歩き、夏の風物詩を満喫しました。

ほかにも数え上げればきりがない今年の光り輝く“ひとびと”。先に挙げた数々の活躍やイベントの裏には、大勢の町民のみなさんの協力があったことは容易に推察できます。そんなみなさんが力をあわせてまちづくりを行えば、新たな“やぶき”の創出は、難しいことではありません。

「大河（～矢吹町の再生～）」へつながら一滴は、町民のみなさん一人ひとりの力。私は、町職員と一体となり、その一滴一滴を全力でバックアップしていくことをお約束し、平成19年締めくくりに「ひと言」とします。みなさん、よいお年を!!



矢吹町長  
野崎吉郎